

2014



ISAKOS APPROVED COURSE

札幌靱帯再建術セミナー&ライブ

靱帯再建術の深い追求を志す整形外科医のために



Photo by (c) Tomo Yun (<http://www.yunphoto.net>)

近年の目覚ましい靱帯再建術の進歩は、情熱にあふれた多くの若い整形外科医の基礎および臨床研究によって支えられてきました。そして今後の発展もまた、若い整形外科医の情熱に負うことは確実です。この情熱は確固たる科学的知識に基づいていることが必須です。しかし約30年になる歴史が残した重要な文献の全てを自分で読み直す事は容易ではありません。最近の学会等でEBMを無視した討論を聞くこともあります。

このセミナーの第一の目的は靱帯再建術の深い追求を志す若手・中堅整形外科医に今後の靱帯再建術進歩に必須の知識を整理して頂くことです。第二の目的は、我々が提唱している解剖学的2重束再建術の理論と実際を、興味を持つ方に正しく理解して頂くことです。

7月31日(木)・8月1日(金)

北海道大学ファカルティハウス

「エンレイソウ」

主催 札幌靱帯再建術セミナー事務局

Tel: 011-706-7211 / Fax: 011-706-7822

E-mail: h-spoken@med.hokudai.ac.jp

共催 医療法人 山の手通八木病院



札幌靭帯再建術セミナー&ライブ

▶ 対象 すでに靭帯再建術の経験があり、その知識および技術をさらに深く追求したいと考える若手・中堅整形外科医20名

▶ 受講料 25,000円(テキスト代、懇親会費を含む)

▶ 申し込み方法 ① 氏名(ふりがな、ローマ字表記)

② 所属

③ 住所(郵便番号)

④ 電話番号

⑤ FAX

⑥ 電子メールアドレス

すべて記載し事務局(下記)まで電子メール、FAXあるいは郵送にてお申込下さい。

申込締切 7月11日(金)

当日消印有効

▶ 内容

① 靭帯再建術を行う整形外科医に必須の基礎知識

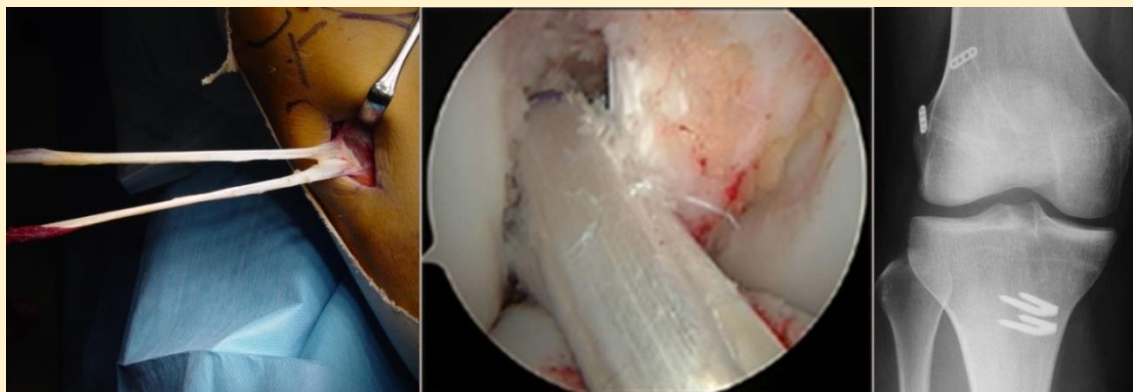
② ACL再建術式発展の歴史のEBMから学ぶもの

③ 解剖学的2重束ACL再建術の理論と実際(Live Surgery)

④ PCL再建術の理論と実際

⑤ 内側および外側支持機構再建術の理論と実際

⑥ 靭帯再建術後のリハビリテーションの理論と実際



▶ 講師

安田和則 (北海道大学大学院医学研究科スポーツ医学分野教授)

遠山晴一 (北海道大学大学院保健科学研究院教授)

青木喜満 (朋仁会整形外科北新病院副理事長)

井上雅之 (NTT東日本札幌病院整形外科部長)

北村信人 (北海道大学大学院医学研究科スポーツ医学分野准教授)

近藤英司 (北海道大学大学院医学研究科スポーツ先端治療開発医学講座特任教授)

札幌靭帯再建術セミナー事務局
(北海道大学大学院医学研究科スポーツ医学分野内)

〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目

Tel: 011-706-7211 / Fax: 011-706-7822

E-mail: h-spoken@med.hokudai.ac.jp